

おいしさと健康

Glico

江崎グリコ株式会社 事例紹介

江崎グリコ株式会社

2020.11.30

■ 江崎グリコ株式会社

- 社長 江崎勝久
- 創立 1922年（設立 1929年）
- 事業内容
菓子、冷菓、食品、牛乳・乳製品の製造および販売
- 本社 大阪府大阪市西淀川区歌島
- 従業員数（外、臨時雇用者数）
 - ・ 単体：1,525人（688人）
 - ・ 連結：5,364人（3,803人）
- 売上高（連結）2,881億円
- 国内事業所 20カ所
- 国内工場 15工場
- 海外拠点 11カ国16社

※従業員数・売上高は、2019年4-12月 有価証券報告書数値

■ 企業理念

おいしさと健康



おいしさの感動を 健康の喜びを 生命の輝きを

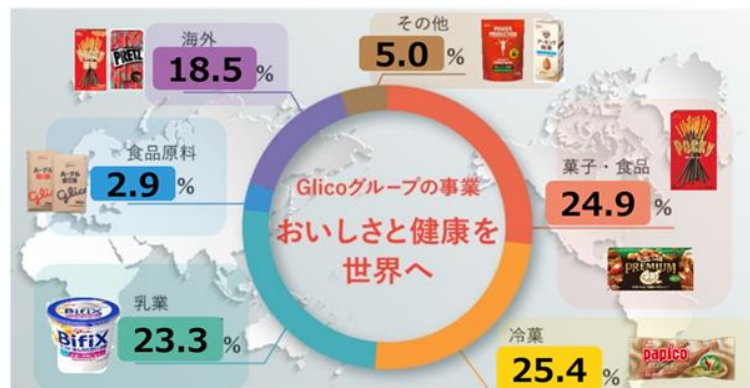
Glicoグループは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドでいきいきとした生活づくりに貢献します。

栄養菓子グリコに込めた「食品による国民の体位向上」の想いは、企業理念「おいしさと健康」へと表現を変え、現在へと受け継がれています。

我々は一貫して事業を通じて社会に貢献し、より多くの人々の健康な毎日を実現することを追求し続けます。

■ Glicoグループの事業

菓子・乳業・冷菓事業を中心に、世界中のお客様に「おいしさと健康」をお届けしています。



※ 2019年度の会計期間：国内は2019年4月～12月、海外は2019年1月～12月

グリコの働き方改革（管理から自立へ）

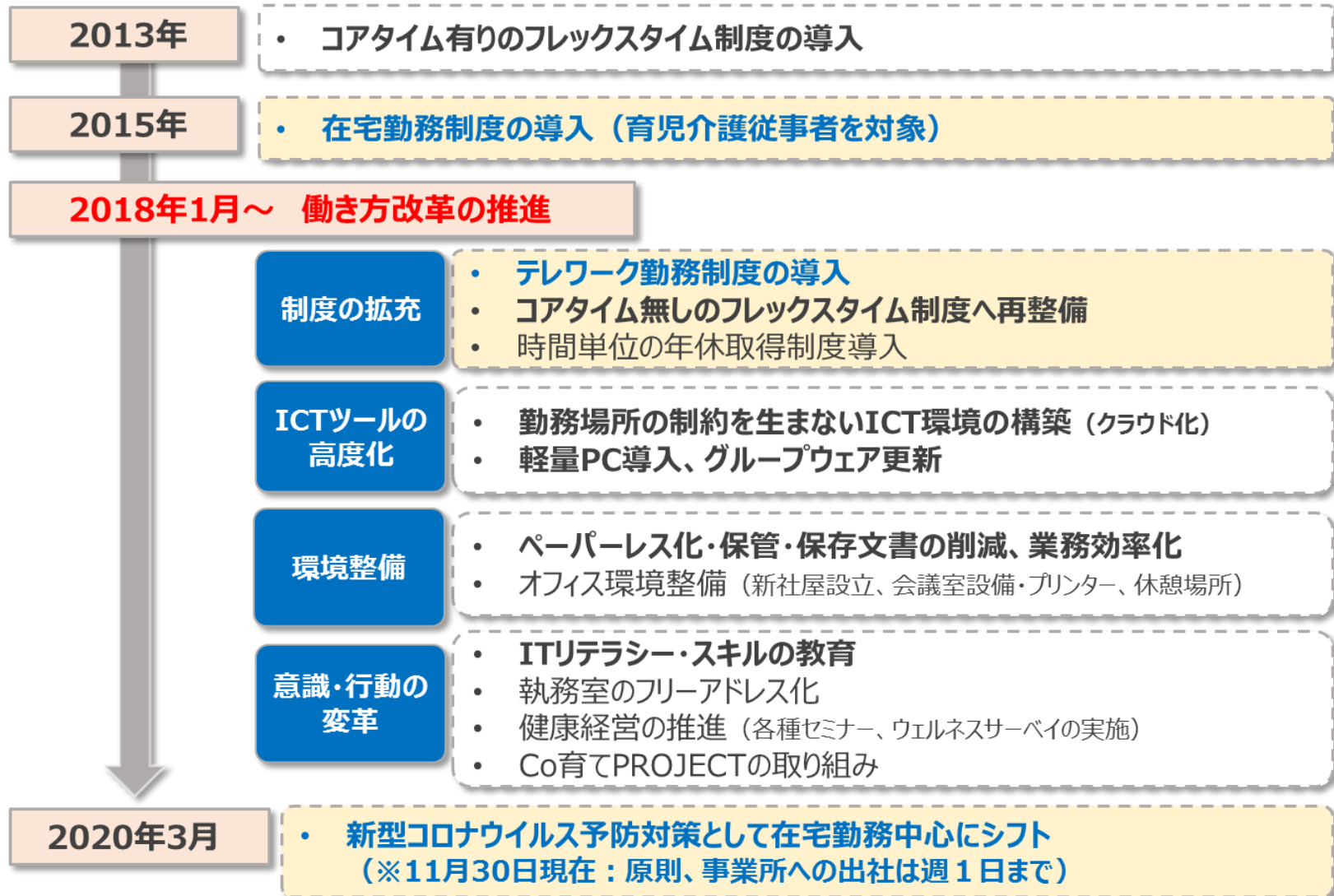
グリコの働き方改革は、

- ①イノベーションの創出
- ②自律・自立
- ③健康経営
- ④ワークライフバランス
- ⑤ダイバーシティ

5つのテーマを同時並行で推し進め、
『**企業価値の向上**』と『**企業理念である「おいしさと健康」の実現**』
を目的に取り組んでいます。



取組みの変遷

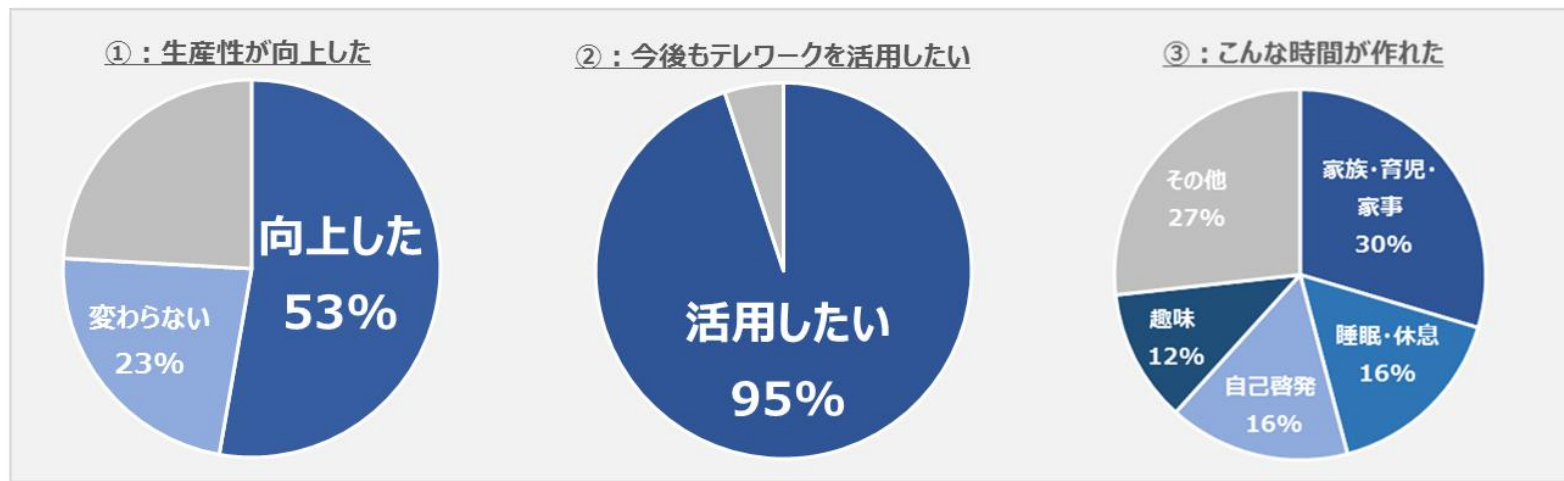


テレワーク制度の概要



項目	概要												
対象者	正社員、契約社員（エキスパート社員、シニア社員）												
特徴	<ul style="list-style-type: none">・利用時の理由不問・勤務場所の制限なし（個人情報管理に支障が無ければどこでも勤務可）・フレックス勤務のフレキシブルタイム内（6～22時）で就業時間を自由に選択・私用外出、リフレッシュ、自己研鑽、育児家事などを理由とする中抜け勤務も可（中抜けした時間は労働時間外の取扱い）・深夜帯（22～翌6時）、休日は原則禁止・テレワーク勤務は週20時間迄 ※感染予防対策中の現在は制限無し												
利用実態	<p>※社内アンケート集計より抜粋</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>2018年</th><th>2019年</th><th>現在（2020年8月）</th></tr></thead><tbody><tr><td>①利用したことがある方</td><td>51%</td><td>68%</td><td>100%</td></tr><tr><td>②週1回程度かそれ以上</td><td>23%</td><td>47%</td><td>100%</td></tr></tbody></table>		2018年	2019年	現在（2020年8月）	①利用したことがある方	51%	68%	100%	②週1回程度かそれ以上	23%	47%	100%
	2018年	2019年	現在（2020年8月）										
①利用したことがある方	51%	68%	100%										
②週1回程度かそれ以上	23%	47%	100%										

(1) 従業員の声 ※2020年7月実施のアンケート結果より



(2) ペーパーレス

紙書類の印刷や保管の削減を進め、
テレワーク導入前（2017年）から

【2019年度末時点】

- ①印刷：▲64%（▲730万枚）
- ②保管：▲2.2ファイルメーター
- ③複合機：▲45%（▲42台）

※ 1ファイルメーター(fm)はA4サイズ用紙を
1m積み上げた量

(3) その他

- ①BCP対応
- ②業務のデジタル化

研修のオンライン実施
採用オンライン面接
...etc



③ダイバーシティの推進

- ・育児介護従事者の仕事との両立支援
- ・障がい者の就業支援

※写真画像は個人が特定されないようにモザイク処理を施しています

事例① コミュニケーションの活性化

オンライン懇談会の実施を奨励、開催費用を一部補助

【条件】

- ・一人1,000円/回（年6回まで）
- ・会社PC利用可



事例② 社内掲示板で活用事例を紹介

2人目は、現在仕事をこなしつつ資格取得へのチャレンジを行う さん、

テレワークやフレックスの活用により、充実した日々を送っているとのこと。

時間を有効に使う
自分の可能性を広げる

一資格取得のために制度を活用されているようですが、具体的に教えてください。

もとも今回の制度を利用したいと思ったのは、自分のスキルアップにチャレンジしてみたいからです。私も、資格取得学校TACへ通うためには、通常の勤務時間では通学難を繰り返すスケジュールになるため、通学の時にテレワークを活用しています。08時~17時の間、自宅でテレワークをしながらTACへ。授業後は自宅で資格勉強を行います。仕様の通勤時間短縮も有効活用できるようにしました。また学校では通った業界の方の話を聞き、関連した事に相談に乗ってもらえたり、いろいろな人の交流も増え

ました。テレワークのおかげで、仕事と勉強の両立に加え、人の輪も増えるのが充実した毎日と感じています。今後はスキルアップして、今の業務に活かすだけでなく、自分の将来への可能性を広げるチャレンジしていきたいと思っています。

【読者】みんなはどうしている？オフィスじゃなくても作業に集中できる！使えるテレワークお役立ち活法！



事例③ 健康維持・向上を支援する活動

オンラインヨガ

心と身体のリフレッシュ！瞑想や呼吸法で、自律神経のバランスを整え、ストレス対処能力を向上



オンラインセミナー（筋トレ・疲労回復）

適切な休憩を取り、健康障害の防止図り、パフォーマンスの低下を防止



今後の課題

- (1) 成果創出：成果を更に上げていくための成果マネジメント
- (2) 人材育成：特に新規採用者や異動者の育成マネジメント